

令和6年度 浅子小中学校 学校評価集計表

※ 3.7以上はみどり色、3.0未満は赤で表示
 ※ 全体平均は、3. 6(90%)以上は SA、3. 2(80%)以上は A、2. 8(70%)以上は B、2. 7(69%)未満は Cで表示

「4:あてはまる」「3:ややあてはまる」「2:あまりあてはまらない」「1:あてはまらない」			生徒	保護者	地域	教職員	平均	全体平均
項		目						
1 学校の方針	1	学校の教育活動全般に満足している。	3.3	3.3	3.6	3.7	3.5	3.5 A
	2	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	3.1	3.4	3.6	3.9	3.5	
	3	学校は、特色ある教育活動(学力の向上・小中連携・開かれた学校)を行っている。	3.6	3.2	3.9	3.7	3.6	
	4	学校は、生命を尊重し、いじめや暴力のない学校作りに取り組んでいる。	3.6	3.4	3.6	3.9	3.6	
2 教職員の様子	5	教職員は、子どもをよく理解し、個に応じたわかりやすい授業を行っている。	3.5	3.2	3.8	3.4	3.5	3.5 A
	6	教職員は、努力を認め、子どもの能力に応じた対応をし、自主性や表現力を伸ばそうとしている。	3.6	3.1	3.8	3.6	3.5	
	7	教職員は、子どもの悩みや相談ごとに親身になって応じている。	3.5	3.1	3.7	3.6	3.5	
	8	教職員は、家庭への連絡や報告を必要に応じて行っている。	3.6	3.2	3.6	3.6	3.5	
3 子どもの様子	9	子どもたちは、好ましい友達関係があり、楽しく登校している。	3.4	2.9	3.3	3.3	3.2	3.3 A
	10	子どもたちは、誰にでも気持ちのよいあいさつをしている。	3.4	2.7	3.2	3.7	3.3	
	11	子どもたちは、きちんとした身なりをしている(名札・髪型・服装・清潔感など)。	3.2	2.9	3.6	3.7	3.4	
	12	子どもたちは、学校行事や部活動等に積極的に取り組んでいる。	3.4	3.2	3.8	3.7	3.5	
4 教育環境	13	各家庭では、しつけや基本的な生活習慣等を、きちんと身につけさせるように努力している。	3.7	2.9	3.2	3.2	3.3	3.4 A
	14	学校は、危険箇所への配慮があり、安全に生活を送ることができる環境を整えている。	3.5	3.1	3.8	3.6	3.5	
	15	学校では、人権教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育が行われている。	3.6	3.3	3.3	3.7	3.5	
5 開かれた学校	16	学校は、学校行事等で、保護者や地域の人たちが、来校する機会を多く設けている。	3.3	3.4	3.4	3.8	3.5	3.6 SA
	17	子どもたちは、育友会や健全育成会など、地域の行事によく参加している。	3.3	3.3	3.9	3.8	3.6	
	18	地域の住民は、子どもたちを大切にし、励ましたり、注意したりしている。	3.6	3.3	3.3	3.8	3.5	
	19	学校は、学校や学級の様子を、お便りや学校だより、安心安全メールなどで必要に応じて知らせている。	3.7	3.4	3.9	3.9	3.7	
	20	学校は、地域の行事をよく理解し、協力的である。	3.6	3.4	3.8	3.4	3.5	
平均			3.47	3.20	3.61	3.63	3.48	

結果の考察

アンケートの平均値に注目すると、保護者の項目が3. 2と他の項目に比べて低いことがわかる。加えて、今年度9月の結果と比べると、児童生徒は変化なし、地域は0. 1ポイント、教職員は0. 2ポイントの改善がみられるのに対して、保護者の平均は0. 2ポイント下がっている。

これらのことから、今年度の取り組みにより、改善に向け一定の効果はみられるが、保護者に対しての説明や広報が不足しているために十分理解が進んでいないことが予想される。

また、学校からの報告の項目の値がすべてのアンケート対象で下がっていることも併せて、家庭への連絡を今まで以上にしたり、学級通信を発行したり、することで学校と家庭の関係性を強くしていくことが、学校の信頼をより高め、保護者、地域の評価を高めることにつながると考える。

本校では、今年度特にあいさつの指導に注力してきた。校内のあいさつ運動にとどまらず、校外や家庭でのあいさつについても、子供たちに繰り返し指導するとともに、児童生徒会活動にもあいさつ運動を取り入れてきた。児童生徒、教職員のあいさつにかかわる項目が9月に比べてそれぞれ0. 2ポイント向上していることから、この取り組みは一定の効果があったことがわかる。しかし保護者、地域の項目を見ると、保護者が0. 1ポイント、地域が0. 3ポイント低くなっている。今後は、家庭や地域とも子供たちがしっかり挨拶できるような取り組みを進めていく必要がある。